

横浜市立大学データサイエンス人材育成プログラム自己点検

高等教育推進センター長

中條 祐介

本プログラムは、本学データサイエンス学部学生を対象とし、データサイエンス学部が育成する数理・データサイエンス・AIの応用基礎力を「DS x DEI(Diversity, Equity and Inclusion)による価値創造」と捉え、DSがSocial Goodを牽引し、多様な領域において価値創造するためにDS人材が持つべき視座・技能を養成することを目的としている。

【令和3年度】

教育プログラムの履修・修得状況

本プログラムの前段階である数理・AI・データサイエンスリテラシーレベルプログラムの履修状況は、全学年で12%であった。本プログラムの多くの科目が学部必修科目であることを鑑み、次年度は説明会等を通じ、履修の動機付けとプログラムの周知徹底を行う。

学修成果

各科目における課題や最終試験を通じて、学修成果を確認した。また、各科目の授業評価アンケートにより、学生の理解度と学修成果を把握した。集計・分析結果は、各学部およびFD・SD推進委員会で分析結果を共有し、各科目の改善に活用した。

学生アンケートを通じた学生の内容の理解度

授業評価アンケートから算出した科目群別評定平均のうち、データサイエンス学部系講義の評価は、学修到達目標の達成「4.20/5」、満足度「4.46/5」といずれも学生評価は4以上と概ね高評価を得たと確認した。